

くみあいだより

木曽森林組合 組合員報

No.27

令和5年8月発行



写真【令和5年度安全大会】

経営理念

1. 地域の森林づくりで、社会に貢献します。
2. 未来に繋ぐ森林づくりで、地域と共に歩みます。
3. 豊かな職場づくりで、信頼される組織を目指します。



損益計算書			
(単位 千円)			
I 事業総損益	取 扱 高	損 益	
指導部門	1,687	1,444	
販売部門	15,860	14,209	
森林整備部門	145,204	73,995	
利用部門	141,504	34,222	
購買部門	6,829	732	
金融部門	5	5	
事 業 総 利 益			124,607
II 事業管理費			
人 件 費	88,451		
旅費交通費		826	
事 務 費		2,344	
業 務 費		3,200	
諸税負担金		2,574	
施 設 費		23,362	
雜 費	0		
事 業 管 理 費 計			120,757
事 業 利 益			3,850
III 事 業 外 損 益			3,176
經 常 利 益			7,026
IV 特 別 損 益		0	
税引前当期純利益		7,026	
法人税及び住民税		1,632	
当期剰余金		5,394	
前期繰越剰余金		10,033	
目的積立金取崩額		18,468	
当期未処分利益剰余金		33,895	

令和4年度剰余金処分案			
(単位 千円)			
科 目	積算内訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			33,895
II 剰余金処分額			
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	1,100	
2 任意積立金	(損失補填積立金)	10,000	
3 目的積立金		10,000	21,100
III 次期繰越剰余金		12,795	

貸借対照表			
(単位 千円)			
資 産 の 部	金 額	科 目	金 額
I 【流動資産】	【442,476】	I 【流動負債】	【172,979】
現 金	194	受託販売預り金	61,136
預 金	264,529	買掛金	-
受 取 手 形	-	未 払 金	41,891
売 掛 金	64	前 受 金	-
未 収 収 金	110,000	預 金	69,898
た な 卸 資 産	2,215	仮 受 金	54
立 替 金	65,272	雜 負 債	-
仮 払 金	202	貸 倒 引 当 金	-
雜 資 産	-	II 【固定負債】	【36,120】
機 装 置	1,173	退職給与引当金	32,776
車両運搬具	0	役員慰労金引当金	3,344
工 器 具 備 品	1,187	修繕引当金	-
船 舶	522	その他の固定負債	-
森 林	0	農林漁業資金借入金	-
② [無形固定資産]	【13,691】	負債合計	209,099
ソ フ ト ウ ェ ア	2,882	資 本 の 部	
③ [外部出資]	1,173	I 【資本剩余金】	【100,042】
系 統 出 資 金	0	① [出資金]	0
系 統 外 出 資 金	522	出 資 金	100,042
④ [その他固定資産]	222	② [剰余金]	【121,622】
長 期 貸 付 金	9,765	法定準備金	70,682
長 期 保 険 共 済 積 立 金	8,257	任 意 積 立 金	32,940
長 期 保 険 共 済 積 立 金	1,508	目的 積 立 金	18,000
III 【繰越資産】	【822】	③ [当期末処分剰余金]	【25,533】
出 資 加 入 金	129	当 期 剰 余 金	12,017
資 産 合 計	456,296	前 期 繰 越 剰 余 金	13,516
		資本合計	247,197
		負債・資本合計	456,296

永年勤続者表彰
~益々のご活躍を祈念いたします~

勤続 40 年 (定年退職)
古谷 武仁

勤続 20 年以上
青木誠太郎 岩原 和彦
奥原 孝康 黒内 良夫
小田 学

第21回木曽森林組合通常総代会

令和五年度 事業計画

木曽森林組合の事業運営基本は、組合員・森林所有者の森林整備が主体であることから、適切な森林管理・経営・成熟した人工林の円滑な世代交代の実施に努めます。

造林事業が減少する中、主伐再造林を円滑に進める為の組織体制の強化に取り組み、個々の能力向上を目指し、十年先を見据えた提案を致します。コスト削減の為の研修会にも積極的に取り組みます。また、「意欲と能力のある林業事業体」としての知識の向上を図ると共に、地域林業のリーダーとして、新たな森林管理制度に対応すべく体制づくりを強化し、人材確保を積極的に行っていきます。

第21回 通常総代会開催

—4年ぶりに制限なく開催されました—



議長に木曽町三岳地区の梶原隆彦氏を選出し、提出された八議案が原案通り可決、承認されました。

総代の皆様より質問・貴重なご意見をいただき、活発な会議となりました。ご協力ありがとうございました。

令和四年度 事業報告

新型コロナウイルスは

徐々に収束の兆しが見える

中ではありますましたが、日々の感染状況に注視しながら

の一年でした。そのような状況下で少しずつコミュニケーションが図れる場面も

増え、役職員一同連携して

計画の達成に向けて頑張って参りましたが、計画を下回る結果となりました。

十月には合併二十周年を迎えて参りましたが、計画を下回る結果となりました。

経営管理制度における事

業も少しずつではあります

が始まり、山地災害への対応、脱炭素社会の実現へ向けて益々森林組合の役割が重要な時代を迎える中、その人材をどう確保していくのかが課題ではあります

が、関係機関とより連携しながら進んで参る所存です。

ウッドショットによる木材価格の高騰は一過性のものであり、外材がダブつく状況も見られます。マツ丸太においては、安定した価格で推移し、これから主伐再造林を進めるに当たりて、良い材料となる事を期待しています。

「森林経営計画の樹立の推進」「森林整備事業の確実な実行」等に基礎づき取り組んできた結果、森林経営計画面積は二六二一・八七ha、森林整備面積一六五・七七ha、木

材生産量は九八九七m³となり、一部期間で請負事業にシフトする状況もあり、計画数量に満たない結果でした。

合併二十周年を迎え、成

熟した組合組織となりつつある中で、更なる十年先の豊かな山造りを目指し役職員一丸となって努力の考え方です。

改めて、ご支援、ご協力を賜りました組合員の皆様はじめ地域の皆様並びに関係機関に心より御礼を申し上げます。



■組合発足二十周年記念行事

令和四年十月、おかげさまで当組合は、発足二十周年を迎えることができました。

組合員はじめ地域の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

十月一日には、木曽文化公園において、二十周年記念行事を開催しました。

当日は、木曽町・長野県林業大学校・パークスマチ信越様にもご協力いただき、記念式典をはじめ、記念講演会、安全講習会、また日本伐木チャンピオンシップ出場選手と学生の皆さんによる、チエンソーを使ったデモンストレーション、VR体験会、高性能林業機械や森林・林業について紹介するパネル展示、林業機械展など盛りだくさんの内容で、晴天にも恵まれ大勢の皆様にご来場いただきました。

功労者表彰受賞者



浦沢 英一様	平成十四年(発足)～組合長九年
神村 光雄様	平成十八年度～専務理事六年
千村 稔様	平成二十四年度～組合長九年
桑原 昭一様	平成十九年度～理事十四年
	桑原 昭一様 平成十五年度～監事十二年

記念講演会

中部森林管理局木曽森林管理署 署長 青木正伸氏（木祖村出身 長野県林業大学校卒）による「森林・林業の現状と課題等」と題した講演を行っていただきました。

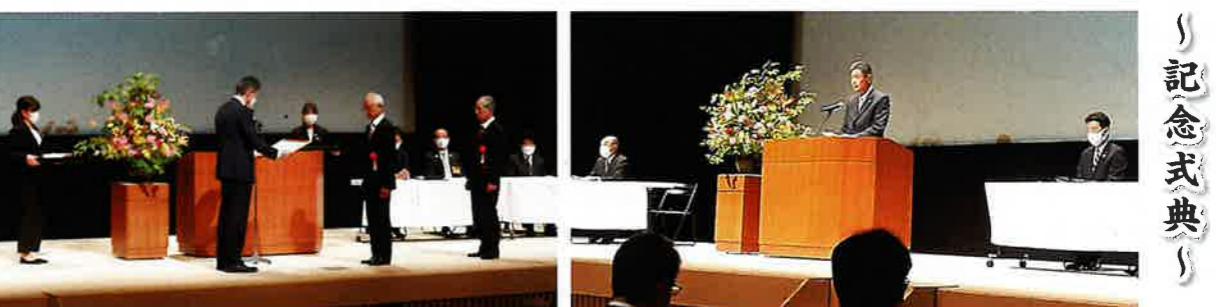


VR体験会

参加者はVRゴーグルを着用し、チエンソーを使つた伐倒作業を疑似体験しました。本当に自分が森林の中にいるような不思議な体験をしていました。



記念式典



功労者表彰

組合長挨拶



来賓祝辞



JForest 森林組合総領唱和

現役員メンバー



パネル展示



高性能林業機械展



パネル展示



「林業よススメ！」 「森林のはたらき」

林野庁が提供している
林業にまつわる漫画も
無料配布しました。

行事いろいろ

パブアニアギニアより研修生来組

職場体験

職員研修

知事との対話集会

県知事が県内全ての市町村を訪問し、県民とテーマに沿って語り合う対話集会が、二月八日、木曽町役場本庁で開催されました。当組合の職員数名も参加し、「林業もと、他の参加者の方々と共に、積極的に意見を述べ、また、阿部知事からも直接意見を聞くことが出来、貴重な機会となりました。



人事のお知らせ

職員体制

業務課					総務課				
係員	係員	係員	係員	課長	係員	主任	主任	係長	代表理事組合長
大久保一彦	岡野花梨	古畑慶大	堀井拓人	林田昭史	森田浩平	上田外高志	中川美香	清水長谷川	代表理事組合長
大久保一彦	岡野花梨	古畑慶大	堀井拓人	林田昭史	森田浩平	上田外高志	中川美香	清水長谷川	代表理事組合長
大久保一彦	岡野花梨	古畑慶大	堀井拓人	林田昭史	森田浩平	上田外高志	中川美香	清水長谷川	代表理事組合長

採用員
令和五年三月一日付
岡野 花梨（業務課）
技能職員
令和四年七月一日付
田代 健太（林産班）
柳 一志（林産班）
令和五年四月一日付
古谷 武仁

退職員
令和五年二月二十八日付
田代 健太（林産班）
柳 一志（林産班）
令和五年四月一日付
古谷 武仁

新人職員の紹介



業務課 岡野 花梨



技能職員 田代 健太



技能職員 柳 一志



管内の中学生の職場体験を受け入れ、現場見学や簡単な作業を体験してもらいました。



JICA Tsukuba Since 1980



林業大学校下刈り実習

令和四年十一月、木曽山林協会林業職員部会の、技術研修会が大桑村で開催されました。今回は、GPSレシーバーを用いた屋外での測量操作実習や、測量結果の作図化実習を学んできました。



◆SBCラジオへ ゲスト出演◆



県下十八森林組合が持ち回りでゲスト出演する、SBCラジオ特別番組「信州の山脈から届け！森人日記」に当組合から、熟練技能者として林産・造林グループ班長の岩原和彦さんが出演しました。山で働く厳しさ・楽しさ・やりがいについて岩原さんならではのユーモアも交え語つてもらいました。出演の様子はYouTubeでも配信されていますので是非ご覧ください。

※天然素材ですが、濃度が高いので説明書をよく読んでご使用ください。

ハッカ油を使い始めて3年。夏場のゴミに寄ってくるコバエから解放されました！この商品は某商品のようにコバエを集めて駆除するのではなく、そもそもコバエが来ません◎

職員も使っています！



一時期話題になりましたが、虫よけ・消臭・リラックス効果など、用途は無限大です。インターネットでは少々高く、更に送料が掛かることも…ぜひ森林組合でお買い求めください。

天然ハッカ油



◆おすすめ商品◆

◆組合員の皆様へ◆

次に該当する方は、木曽森林組合へご連絡をお願いします。

- ・組合員が亡くなった
- ・引っ越しをした
- ・証券を紛失した

特に組合員の方が亡くなる等の理由で登録住所が空き家になってしまふ場合は、郵便物をお届けする事が出来ないだけでなく、森林整備を行う際の説明会の通知なども発送が困難となってしまいます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

また組合員との手続きのわかかる公的書類（住民票・戸籍謄本等）を提出いただくよう、お手続き方法が変更となっております。詳しい提出書類については当組合まで確認いたします。

コロナが五類感染症に移行され、コロナ前の日常が戻りつつあります。発生から三年以上、それぞれの立場でいろんな思いを抱えて過ごしてきましたことと思います。時間は戻せませんが、健康第一で、前向きに生活したいと思いま

編集後記



六月三十日、組合安全大会を開催し、木曽消防署の方々に、三角巾を使った、応急処置の方法を指導していただきました。

◆表紙写真◆